

# 信越トレイル全線踏破達成

2018.10/13～14 A氏と

心と体が喜ぶ山歩きの旅～信越トレイルへようこそ。

日本海から 30KM、長野県と新潟県の県境に標高 1000M級の山並みが続く関田山脈は冬には積雪が 8Mを越える世界でも有数の豪雪地帯。

雪国ならではの美しい自然景観と文化、そして歴史に彩られた地域でもあります。総延長約 80KMの信越トレイルはこの関田山脈の尾根沿いに連なる日本初のロングトレイルです。(NPO法人信越トレイルクラブ編のガイドブックより)

前々から何時か歩こうと思っていた「信越トレイル」。最大の問題は登山口と下山口間の足の問題です。適当な相棒がいれば車 2 台でクリアー出来るが。たまたま声をかけた A さんが同行を決意してくれたので早速昨年 10 月に全線踏破を 3 回がかりで達成しようと思いました。しかし A さんの休みは土・日・祭のみ、天候や道路が通行止めになったりで結局去年は 10/27～29、11/5～6 の 2 回の挑戦。結果的に桂池～宇津ノ俣峠間約 22KMが残ってしまった。今回 1 泊 2 日で歩ききる事ができた。A さんには心から感謝です。

10/13 (土) 晴れ。 自宅 5:30～8時過ぎに道の駅「花の千曲川」で A さんと合流し、車 1 台を下山する桂池テントサイト P にデポしてから宇津ノ俣峠登山口に行く。 8:55 桂池 9:05～9:40 宇津ノ俣峠登山口 9:50～

11:30 宇津ノ俣峠～13:00 牧峠～16:00 グリーンパル光原荘 (泊)

10/14 (日) 曇りのち晴れ。6:00～6:45 関田峠～8:35 鍋倉山 8:50

～11:00 小沢峠 11:10～12:15 仏ヶ峰登山口 (昼) 12:55～14:30

桂池テントサイトP 14:45～15:10 宇津ノ俣峠登山口で車回収 15:20

～15:35 いいやま湯滝温泉 (入浴) 16:20～18:35 帰宅。(走行 151KM)

昨年 11/5 に深坂峠から入り、須川峠～宇津ノ俣峠～宇津ノ俣峠登山口と歩いたので今回は宇津ノ俣峠登山口からスタートする。



←宇津ノ俣登山口から入山

気持ちの良い広葉樹の樹林帯を登る、途中からブナ林になる。宇津ノ俣からはアップダウンのある稜線を舗装道路がある牧峠に。猛禽類の渡りで有名な所でカメラを持ったマニアが数人いた。梨平峠を過ぎて関田峠

手前でグリーンパルへのアプローチ道を下る。20分で光ヶ原キャンプ場や展望台に着く。ほぼ予定通りの時間にグリーンパル光原荘に到着する。すぐ近くを飯山市～関田峠～上越市を通る95号線を走る車やオートバイが見えた。宿は上越市営で古い建物だが素泊まりのみであるが2300円と格安。キッチン

や食堂・休憩室もあり、シャワー（15分200円）も完備していて快適であった。5月GWの釣りは日帰りで、それ以来のAさんとの今年初めての泊りなので（今年はテント泊釣行が無かったので）話がはずむ。

ナメコ発見



今日の宿グリーンパル光原荘



←宿で宴会

途中で採ったナメコ汁は最高に美味だった。来年は北海道へ一緒にイワナ釣りに行こうと言う話も出た。楽しみだ。

10/14 は稜線まで登り返して舗装道路の関田峠を越えて鍋倉山へ。



←関田峠から鍋倉山へ

ハイクやブナの巨木の谷で賑わう所。冬はスノーシュー・歩くスキーも人気だ。ブナの美林が続く素晴らしい登山道である。豪雪地帯なのでブナの木も折れ曲がり、地面を這ったり湾曲した枝も多い。ブナは保水力が

あり、しなやかで粘り強い木、柔軟性のある大好きな木である。又倒木・立ち枯れのブナにはナメコが出る。

気持ちの良いブナ林を歩く



ナナカマドは葉が散り実のみ



キノコの王様と言える。仏ヶ峰まではブナの美林や日本海などの展望で楽しか

ったが、以降の桂池まではスキー場があったり、ブナが少なくなったり、針葉樹林帯もあってつまらなかった。昨年テント泊した懐かしい桂池テントサイトに予定より1時間以上早く着く。信越トレイルの全線踏破を達成できた。



←鍋倉山山頂

Aさんは希望湖付近の私が泥沼にはまってしまった所 2KMほどが残っていて一緒に喜べなかった事が残念だった。紅葉は始まっていたが、何故か？枯れた葉も多く今年はハズレ年かも。

なおこのトレイルは10月中・下旬の紅葉期に



斑尾山から天水山までテント泊しながら(4泊5日)一気に歩くのがベストだと感じました。

←桂池テントサイト

(体力があればだが)又は気の合う仲間と車2台利用で2~4回に分けて。(車が入るテント場にあらかじめテント・食糧等を置いて置くとザックの軽量化が図れて良い)



←信越トレイル 80KMを踏破

赤沼 健治